

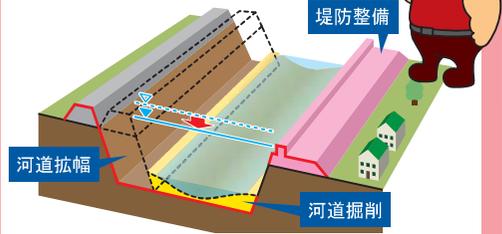
水災害リスクの増大に備えるため、あらゆる場所であらゆる関係者が協働して

様々な対策を行います。

『川からあふれる水を減らす対策』

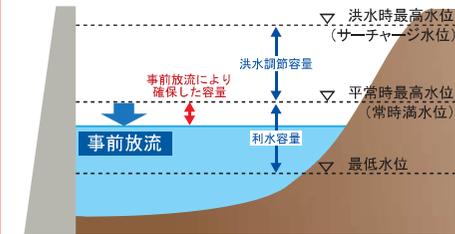
①河道改修

川幅を広げたり河道を掘削するなどして、安全に川の水を流せるようにします。



②ダム の事前放流

想定を超える大雨が予測されたときに、ダムの水位を下げることで、洪水被害を減らします。



『流域治水』により、人や社会の被害の最小化を図ります！



『住まい方の工夫などにより被害を減らす対策』

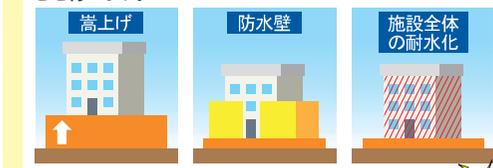
⑨立地適正化計画の策定・見直し

水災害リスクを考慮した適切な居住誘導を図ります。



⑩建物の耐水化

水災害時においても機能を確保するため、建物の高上げなどを行います。



『避難などにより被害を減らす対策』

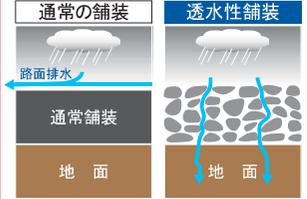
⑫ハザードマップの作成・公表

浸水範囲や避難情報が記載されたハザードマップを作成・公表し、浸水リスクの把握や、適切な避難行動等につなげています。



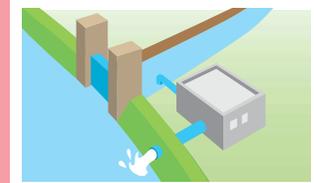
③透水性舗装の実施

雨水を地面に浸透させる舗装にすることによって河川への流出を抑制します。



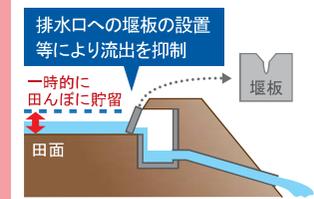
④排水機場の整備

本川からの逆流を防ぐため水門が閉じた時に、支川の水を強制的に本川に排出します。



⑤田んぼダム

田んぼの排水口へ特殊な堰板を設置し、一時的に雨水を貯留します。



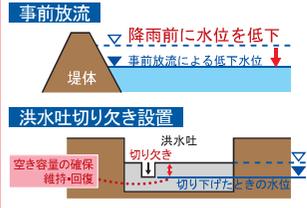
⑪排水ポンプ車の配置

氾濫した水を排水ポンプ車により強制的に排水し、浸水被害からできるだけ早急な復旧を図ります。



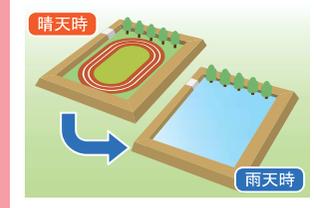
⑥ため池の有効活用

ため池の空き容量を確保し、より多くの雨水を貯留します。



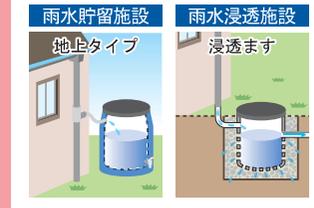
⑦公園・グラウンド貯留

公園やグラウンドを掘り下げるなどして一時的に雨水を貯留します。



⑧建物の敷地における対策

建物の敷地にタンクや浸透ますを設置し、雨水の流出を抑制します。



⑬防災意識の啓発

災害時に適切な行動が出来るように、浸水リスクや災害に対する意識向上につなげています。



⑭防災情報の周知

適切な避難行動がとれるよう、気象や河川等の情報を様々な手段で伝えます。

